

平成 26 年度 戦略的情報通信研究開発推進事業 応募件数・採択件数

プログラム名	近畿		全国	
	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数
電波有効利用促進型研究開発（第2回）	10	3	32	8
ICTイノベーション創出型研究開発	28	5	119	20
若手ICT研究者等育成型研究開発	8	3	54	22
電波有効利用促進型研究開発（第1回）	3	2	17	7
先進的通信アプリケーション開発推進型研究開発(タイプII)	1	1	4	3
地域ICT振興型研究開発	8	2	77	22
合計	58	16	303	82

※電波有効利用促進型研究開発（第2回）以外は、平成26年7月18日付け報道発表済み。

〈参考〉対象プログラム

○ 電波有効利用促進型 研究開発

電波の有効利用をより一層推進する観点から、新たなニーズに対応した無線技術をタイムリーに実現するとともに、電波利用環境を保護するための技術の研究開発課題に対して研究開発を委託します。

○ ICTイノベーション創出型 研究開発

国として今後取り組むべき現時点の課題を分類及び整理した「研究開発戦略マップ」において、イノベーションを創出する独創性や新規性に富む研究開発課題の提案に対して研究開発を委託します。

○ 若手ICT研究者等育成型 研究開発

ICT分野の研究者として次世代を担う若手人材を育成することや中小企業の新たな技術を発掘するために、若手研究者又は中小企業の研究者（個人又はグループ）が提案する研究開発課題に対して研究開発を委託します。

○ 先進的通信アプリケーション開発推進型研究開発

経路制御、帯域制御等のネットワークの柔軟な設定・運用を実現する「新世代ネットワーク」※の機能を用いた先進的な通信アプリケーションを実現する開発課題に対して研究開発を委託します。タイプIIは大学及び中小企業を対象とするものです。

※ 新世代ネットワークは、通信量の増加、エネルギー消費の増大、セキュリティ等の既存のネットワークが抱える問題を解決するために、これまでの改良ではなく、白紙から設計した全く新しいネットワークであり、2020年頃の実用化を目指しています。

○ 地域 I C T 振興型 研究開発

I C T の利活用によって地域貢献や地域社会の活性化を図るために、地域に密着した大学や、地域の中小・中堅企業等に所属する研究者が提案する研究開発課題に対して、研究開発を委託します。